

中学生の情緒的自律性と母親の養育態度との関連

平石賢二 (名古屋大学)

キーワード：中学生，情緒的自律性，母親の養育態度

問題と目的

初期青年期の情緒的自律性の発達に関する研究は Blos (1967) が提唱した第 2 の個体化プロセスの概念に基づいて Steinberg & Silverberg (1986) が先駆けて行ったが，その後の研究により情緒的自律性には肯定的な発達の側面だけではなく，否定的な発達の側面との関連が認められ，detachment debate と呼ばれる論争が生じている。しかし，日本においてはこの点に関して十分な研究知見が重ねられてはいない。

そこで，本研究においては，初期青年期の情緒的自律性の発達と相互規範的な関係が想定できる母親の養育態度に着目し，両者の関連を検討することを目的とした。

方 法

調査実施方法および調査対象者

インターネット調査会社 NTT コムオンラインに契約している全国の母親およびその中学 2 年生の子どものうち，調査依頼に対する同意が得られた 1,050 組を対象に調査を行った。37 組の回答には不備が認められたため残りの 1,013 組（男子 496 名，女子 515 名）の回答を分析の対象とした。

調査時期 2020 年 2 月

調査内容

中学生を対象にして，Sugimura et al. (2018) の作成した情緒的自律性尺度 12 項目（4 件法，1～4 点）を使用して回答を求めた。この尺度は，Beyer, Goossens, Calster, & Duriez (2005) が作成した尺度を翻訳したものである。

また，母親に対しては思春期の子育て態度尺度（平石，2007）を使用して回答を求めた。この尺度は，不安定な態度（6 項目），威厳ある姿勢（6 項目），適切な心理的境界（7 項目），主体性の尊重（6 項目）の 4 つの下位尺度から構成され，いずれも回答形式は 5 件法（1～5 点）である。

結果と考察

各尺度得点の α 係数は，情緒的自律性 $\alpha = .81$ ，不安定な態度 $\alpha = .86$ ，威厳ある姿勢 $\alpha = .72$ ，適切な心理的境界 $\alpha = .72$ ，主体性の尊重 $\alpha = .81$ であった。各尺度の男女別の平均値，標準偏差および t 検定の結果は Table 1 に示す通りである。

情緒的自律性得点に関しては，男子が女子よりも有意に高い得点を示していた。母親の養育態度得点に関しては，有意な男女差は認められなかつ

た。

情緒的自律性得点に関して有意な男女差が認められたため，子どもの情緒的自律性と母親の養育態度との関連については，男女別に分析を行うことにした。両者の関連については，本研究では相関係数（Pearson）の結果のみ報告する。

男女別の各尺度得点間の相関係数は，Table 2 に示す通りである。男女共に適切な心理的境界を除く 3 つの養育態度の下位側面と子どもの情緒的自律性との間に低い有意な相関関係が認められた。具体的には，子どもの情緒的自律性は母親の不安定な態度と正の関連，母親の威厳ある姿勢ならびに主体性の尊重と負の関連が認められていた。以上の結果は，初期青年期における情緒的自律性の発達が必ずしも肯定的な側面ではなく，否定的な側面を有している可能性を示唆している。

しかし，本研究においては，母親の養育態度と子どもの情緒的自律性の間の因果関係については検討しておらず，両者の関係における影響の方向性については明らかにしていない。そのため，今後の研究においては，縦断調査によって両者の因果関係の方向性について検討する必要がある。また，情緒的自律性の発達の意義を明らかにするためには，子どもの他の心理社会的発達や適応の側面との関連についても検討する必要がある。

Table 1 男女別の各尺度得点の平均値，標準偏差および男女差 (t 検定)

	Mean (SD)		t 値
	男子 $n=496$	女子 $n=515$	
情緒的自律性 (1-4 点)	2.63(.38)	2.56(.40)	$t(1009) = 2.48, p < .05$
不安定な態度 (1-5 点)	2.75(.77)	2.69(.79)	$t(1009) = 1.18, n.s.$
威厳ある姿勢 (1-5 点)	4.24(.49)	4.19(.51)	$t(1009) = 1.71, n.s.$
適切な心理的境界 (1-5 点)	3.40(.59)	3.42(.58)	$t(1009) = -.34, n.s.$
主体性の尊重 (1-5 点)	3.88(.59)	3.92(.61)	$t(1009) = -1.03, n.s.$

Table 2 男女別の各尺度得点間の相関係数 (Pearson)

	1	2	3	4	5
1. 情緒的自律性		.20***	-.19***	-.03	-.23***
2. 不安定な態度	.36***		-.17***	-.28***	-.55***
3. 威厳ある姿勢	-.31***	-.26***		.20***	.46***
4. 適切な心理的境界	-.03	-.27***	.20***		.59***
5. 主体性の尊重	-.36***	-.51***	.52***	.54***	

注) 右上 男子，左下 女子，*** $p < .001$

付 記

本研究は，科学研究費（基盤研究 C，課題番号 15K04056，研究代表者：平石賢二）の助成を受けて実施された。